

令和6年 12月 5日

事業所名称…グループホームまごころの家・グループホームまごころの家こしばら

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

出席者(予定者)

事業所	2人	利用者	0人
利用者家族	0人	地域代表者	0人
松江市職員	1人	包括支援センター	0人
知見を有する者	1人	その他	0人

令和6年 10月～11月のまごころの家、活動内容

(利用者について)

入退去・入院…なし

平均年齢 90歳 最年少 79歳 最高齢 97歳 介護度平均 4.4 女性 9名

季節の行事…大掃除（早めに取り掛かる）

誕生日会…1名（ステーキ・蕎麦・刺身・ご飯・フルーツ他）

15時はケーキでお祝い 特に、ステーキが好評だった

他の活動…クッキング（ふかし芋・おでん・焼き芋） 壁紙（クリスマス仕様）

DVD 体操

外出状況…ドライブ・買い物・病院受診

医療往診・受診…インフルエンザ予防接種 9名 老人健診 9名

コロナワクチン希望者 2名 生協 HP 泌尿器科定期受診

釜瀬クリニック初診

事故報告…21時、所在不明発覚。吐き出し窓より、外出。近所の方が、警察に通報。警察官が保護してホームへ帰宅。その日、初診で薬の心配、混乱がみられていた。ご家族とお話、一旦落ち着かれたが、その後、再び混乱がみられていた。最終確認は19時帰室の時だった。警察官から「夜間は、外出しないよう、鍵をかける等の工夫をして下さい」と助言があった。直ぐに、ご家族へ報告し、夜間帯のみ外からの鍵をさせて頂く事になった。（松江市へ事故報告提出済み）

ヒヤリハット…1件。靴を履かず、靴下のまま、ベッドの端に座り直そうと思った時、踏ん張りがきかず、滑り落ちた。対策として、ベッドで休む際は、靴下を脱いで頂くよう支援する。

身体拘束について… unnecessary 身体拘束になっていないか、見直しを毎月行っている。

虐待について…チェックシートを用い皆で再確認を行った。

(職員について)

職員自施設研修…10月 インフルエンザ・コロナウイルス感染症・誤嚥性肺炎
BCP 研修

11月 虐待・身体拘束・権利擁護

その他…インフルエンザ予防接種

1名パート職員（週2） いんべホームより異動

11月1日付 男性1名・女性1名入社

11月26日～調理パート1名入社（週2）

防災訓練 11月22日 夜間想定（避難誘導・通報訓練・消火訓練）

○近所の方、ご家族から、野菜、お花、新聞ごみ袋、ウエスなど沢山いただく。

令和6年 10月～11月のまごころの家こしばらホーム、活動内容
（利用者について）

入退去や入院…入院1名（転倒骨折の為）事故報告提出済み

平均年齢 93.1歳 平均介護度 2.2 女性8名 男性1名

毎月の活動…フラワーアレンジメント 焼きそば作り

お焼き作りに初挑戦（ご家族よりお焼きの材料を頂き皆で作った）

誕生日会…なし

外出支援…外出支援（個別対応） 散歩やドライブ

季節の行事…秋の運動会（玉入れ・ボール運びリレー・パン食い競争・輪投げ）赤組、
白組に分かれ職員も一緒に行った。昼食はお弁当風に手作りし楽しく頂いた。

美容散髪…9名 ブルーライン美容室

医療受診・往診 ・釜瀬クリニック往診・つきざわ内科往診・あさひまちクリニック往診
・おむら内科クリニック受診・内海皮膚科往診・生協病院受診
・はまもと整形受診 ・市立病院受診

事故報告…1件 転倒・大腿骨骨折（松江市へ事故報告書提出済み）

ヒヤリハット…0件

身体拘束について…毎月職員会議にて、身体拘束委員会を開催し話し合いを行っている。

センサーや柵については、必ず、ご家族の了解を得て使用。

虐待について…資料を回覧し、確認しあっている。

（職員について）

職員自施設研修 10月高齢者に起こりやすい疾患

11月アンガーマネジメント

インフルエンザ予防接種（全職員）

1名退職

消防訓練

地域活動…なし

実習生受け入れ…介護労働安定センター1名（10月23日～25日）

○入居者様のご家族やご近所様よりウエス用の布や古新聞をいただく。

(意見交換)

法人

所在不明について、病院受診、外泊等いつもと違う事があった場合は、特に目配り必要。GHは2時間毎の巡視が約束されているが、ご利用者の安全が1番なので、不安がある時は、細目に訪室をして下さい。

ホーム

鍵については、警察官から夜間は、安全を第一にと助言があった為、すぐにご家族へ報告して、夜間のみ外から鍵をさせて頂く事になった。今後は、新人が夜勤をする事も考えると、鍵をかけた安心感を得る為にも、中からの鍵に変更も検討している。

松江市

変更する場合は、必ず、ご家族に提案してから実行して下さい。

法人

新人が2名入社した。定着するよう皆で協力して欲しい。

ホーム

入社してすぐ辞められる方は、「イメージが違う」と言われる事が多かった。

松江市

「イメージが違う」と言う事は、よく耳にします。テレビ報道では、老健、特養についてはされるが、グループホームはテレビであまり取り上げられないため、実際努めるまでは分からないよう…。

法人

グループホームは、3対1の原則があり、他の施設に比べると手厚く対応ができる。個々に合わせた時間で食事を提供できたりする。特養、病院では、個々に合わせた時間が難しく、時間が来たら切り上げたりしている。グループホームは、ゆったり時間が流れるが、逆にそのことで、達成感に繋がりにくいと思われるのか。関わりを深める事で、やりがいや喜びに変えて欲しい。また、法人は、休憩を取って下さいと言っているが、新人から、取れていないという事を聞くことがある。

ホーム

休憩に関しては、皆で協力をして、1時間休憩を取れるようにしている。しかし、新人が、現場が大変と思って、早めに休憩を終えて出て来ることがあり、その時は、必ず、1時間取って下さい。まだ、後半仕事があるので、しっかり休むよう伝えている。

松江市

きちんと、休憩をとれるようにしていて、声をかけているなら、自分の判断で出てきた場合については、マインドまでは、干渉できない。それ以上言いようがないので、自己責任で大丈夫です。

法人

お互いが気持ちよく休憩を取る為にも、取る人は、「〇〇時から〇〇時まで休憩頂きます」と、言葉に出す事や、時間をメモして皆で周知する事も必要。

ホーム

アドバイスを頂いたため、早速、休憩入る時間を紙に書き、皆で把握します。その前に

出で来られたら、必ず、休憩を取るように伝えますが、それでも、仕事を選ばれたら、その人の判断なので、受容していきます。

法人

今後、認知症以外の病気での入院が増えて来ると予想がされる。医療処置となると、グループホームでは、限界。花みずきナースステーション社長と話をしているが、今後は、グループホーム全職員が、薬、病気、カテーテルなど、勉強して理解していくことが必要。現在、いんべホームで、処置が必要な方について、花みずきナースステーションがチェックリストを作成して、介護職員の抜かりが無いよう対策してくれている。訪問介護や主治医の協力がある為、連携が取れている。また、ご家族にも変化がみられてきている。積極的に受診や往診を望まれる方が増えてきている。入院が長引くと、ホームの空室になる為、運営が厳しくなる。必要な入院は致し方ないが、今回、他ホームで、病氣治療で入院した方が、病院で転落して、骨折、手術・リハビリの為、退院が長引く事になった。

松江市

人口が減って、人の取り合い。どの産業も制度が複雑。利用者ニーズも変わってきており、その対応もしていかなければならない。医療も介護も制度を柔軟にして欲しい。緩和は有っても、柔軟にはならない。国も考えて欲しい。

法人

当然、保険者同士で話し合っているので、国に申して欲しい。

松江市

制度が複雑だから、少ない資源をどう使っていくのか考えて行く必要がある。

松江市

実地指導で訪問など、特に就業規則や運営規定を見させて頂いています。集団指導でも話したことを見ていない施設もあった為、今年度は、メールでお知らせを先に送っています。必ず、確認をしていってください。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	◎
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	◎